

国際地震工学センター ニュースレター 第87号 2012年11月22日発行

++++++Contents++++++

1. 最近発生した大地震の特設ページ
2. 東北地方への津波研修旅行レポート
3. 東北地方の復興と津波研修旅行の写真
4. 国際記念シンポジウムの発表資料の公表

++++++
=====

[1] 最近発生した大地震の特設ページ

最近発生した以下の3つの大地震に関する特設ページを <http://iisee.kenken.go.jp/quakes.htm> に掲載しました：

- 10月28日 カナダ、クイーンシャーロット諸島 (Mw 7.8)
- 11月7日 グアテマラ沖 (Mw 7.4)
- 11月11日 ミャンマー (Mw 6.8)

それぞれのページへのリンクは <http://iisee.kenken.go.jp> の「新着情報」にもあります。ぜひご覧ください。

原 辰彦 (博士)
国際地震工学センター 上席研究員

[2] 新潟県と東北地方への研修旅行レポート

津波防災コースの研修生4名は11月12日から16日まで東北沿岸の各地を、地震学と耐震工学コースの研修生17名は11月13日から16日の間に、新潟県及び宮城県を訪問しました。以下は、津波コース研修生の感想です。

スーニン（ミャンマー運輸省水文気象部）女性

東北の研修旅行から大変多くの経験と知識を得ました。この旅行は私たちの防災研究の支えとなること
でしょう。

マウリシオ（チリバルパライソ大学）男性

今回は東北の被災地への 2 度目の訪問でしたが、その悲しい経験と美しい景色の混在は印象的なままで
した。都司先生始めコーディネータを含めよい構成でした。

マーチン（パプアニューギニア事業省）男性

研修生間も講師陣との相互関係も、信頼関係を築き、文化を体験し学習する事も出来た旅行でした。壊
滅的な状況や現地での経験は、はかりがたく理解を超えるものですが、新しいレジリエントな社会の基
礎を形作るものとなるのでしょうか。

ジュリアス（フィリピン火山地震研究所）男性

日本の皆さんの郷土愛、協力や奉仕の精神は、いかなる災害も乗り越えるでしょう。日本の政府は、2011
年の激しい津波の後、将来の世代がより楽しく暮らせるよう、被災した各地で膨大な復興プロジェクト
を開始しているのが印象的でした。

芝崎文一郎（博士）

国際地震工学センター 上席研究員

藤井雄士郎（博士）

国際地震工学センター 主任研究員

[3] 東北地方の復興と津波研修旅行の写真

研修旅行に元東京大学地震研の都司先生（建築研究所特別客員研究員）と同行し、仙台平野から三陸を
宮古まで縦断しました。残っていた建物もほとんど除却され、住民の方と話し合っ
て作った復興計画に沿って、高台移転、盛土によるかさ上げや防波堤整備の準備が
始まっています。研修生と共に事業の関係者を訪れて直接話を聞くことも出来
ました。東北の復興と研修生の様子を写真で紹介します。

安藤 尚一（博士）

国際地震工学センター長





2012.11.15 釜石市



2012.11.16 宮古市田老

[4] 国際記念シンポジウムの発表資料の公表

今年 6 月 27 日に開催した国際記念シンポジウム「命を守る地震津波防災の実現に向けて」の発表資料を
国地ホームページに掲載しました。基調講演の尾池先生（前京都大学総長）を始め世界の現状と課題が
和文と英文でご覧頂けます。

（和文つき）

http://iisee.kenken.go.jp/symposium/symposium_memorial_jp.html

黒澤 肇

国際地震工学センター管理室長

=====

このニュースレターは、これまでの研修生（英語メールのみ）と関係者の方々にお送りしています。
皆様のご意見や情報をお待ちしております。（編集：J.S.）

Email: iiseenews@kenken.go.jp

website: <http://iisee.kenken.go.jp>

ニュースレター バックナンバー : <http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>
